

2024年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日

上場会社名 株式会社アイ・ピー・エス 上場取引所 東
コード番号 4335 URL http://www.ips.ne.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 寛
問合せ先責任者 (役職名) 取締役社長室長 (氏名) 関口 敏弘 TEL 06-6292-6236
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第2四半期の連結業績（2023年7月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	1,404	29.7	120	309.1	119	320.4	81	335.1
2023年6月期第2四半期	1,083	△20.7	29	△71.0	28	△71.6	18	△72.0

(注) 包括利益 2024年6月期第2四半期 81百万円 (337.6%) 2023年6月期第2四半期 18百万円 (△72.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第2四半期	35.78	—
2023年6月期第2四半期	8.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第2四半期	2,072	1,338	63.1
2023年6月期	2,276	1,325	56.8

(参考) 自己資本 2024年6月期第2四半期 1,306百万円 2023年6月期 1,293百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2024年6月期	—	0.00	—	—	—
2024年6月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年6月期の連結業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,900	2.4	320	5.7	320	6.5	224	5.2	98.33

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期2Q	2,466,000株	2023年6月期	2,466,000株
② 期末自己株式数	2024年6月期2Q	188,000株	2023年6月期	188,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期2Q	2,278,000株	2023年6月期2Q	2,324,950株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が縮小し、設備投資や個人消費の回復及び訪日観光客の増加等もあり、景気は緩やかながらも持ち直してきました。一方、欧米や中国を中心とした海外の景気減速、原油価格の高止まり等に伴う燃料や原材料価格の高騰及び地政学リスクにより依然として、経済環境は先行き不透明な状況が続いています。

当社グループを取り巻く環境におきましては、DX推進やビジネスにおけるIT活用に対する顧客の期待はますます高まっております。当社グループが主たる事業の対象とするSAPパブリッククラウドの本格的普及が始まり、基幹システム導入コストの低減と経営効果を創造するためのより高度なIT活用への投資による二極化現象がみられます。

かかる状況の下、当社グループは準大手および中堅企業のERPおよびAI等の最新デジタル技術の導入短縮化等SAP導入サービスの革新を目指してまいりました。当社はSAPジャパンが設ける「GROW with SAP 認定パートナー制度」に国内で初めて承認されました。これまでSAPが培ってきたノウハウを提供し、企業の変革と一緒に並走し続けられると推奨するパートナーを承認する制度であり、今後はIPSの専門知識とSAPのGROW with SAPオフアリングとの連携により、より多くの中堅成長企業に対してビジネスの成長をITの面から引き続き支援してまいります。

以上のような活動を積極的に推進した結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、公表している予想売上高を上回ることとなり、売上高14億4百万円（前年同四半期比29.7%増）となりました。損益面では、一部検収が翌四半期に延びた案件もありましたが、概ね計画数値となり、営業利益1億20百万円（前年同四半期比309.1%増）、経常利益1億19百万円（前年同四半期比320.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益81百万円（前年同四半期比335.1%増）となりました。

なお、当社グループはERP導入関連事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載は省略しております。製品及びサービス毎の情報は以下のとおりであります。

（ERP導入事業）

売上高10億14百万円（前年同四半期比83.3%増）となりました。

（保守その他事業）

売上高3億89百万円（前年同四半期比26.4%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における当社グループの総資産は、前連結会計年度末と比較して、2億3百万円減少して20億72百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金11億97百万円、売掛金3億59百万円、固定資産3億6百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して、2億16百万円減少して7億34百万円となりました。主な内訳は前受金1億40百万円、未払金1億円、買掛金59百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して、13百万円増加して13億38百万円となりました。主な内訳は、利益剰余金10億70百万円であり、自己資本比率は63.1%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ7百万円増加し、11億97百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは80百万円の収入（前年同期は14百万円の収入）となりました。これは売上債権の減少による収入1億58百万円（前年同期は1億25百万円の収入）、前払費用の減少による収入42百万円（前年同期は62百万円の収入）、棚卸資産の減少による収入5百万円（前年同期は1億60百万円の支出）、前受金の減少による支出68百万円（前年同期は80百万円の支出）、仕入債務の減少による支出63百万円（前年同期は19百万円の収入）等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは2百万円の支出（前年同期は0百万円の支出）となりました。これは有形固定資産の取得による支出2百万円（前年同期は0百万円の支出）等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは70百万円の支出（前年同期は47百万円の収入）となりました。これは主に、配当金の支払による支出68百万円（前年同期は46百万円の支出）等によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の通期連結業績予想につきましては、2023年8月10日に公表しました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,189,695	1,197,214
売掛金	517,860	359,517
仕掛品	112,332	107,073
前払費用	135,465	92,695
未収入金	8,825	8,869
その他	1,820	806
流動資産合計	1,966,000	1,766,177
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	30,565	28,963
車両運搬具（純額）	3,910	2,929
工具、器具及び備品（純額）	6,622	7,195
土地	19,003	19,003
有形固定資産合計	60,101	58,092
無形固定資産		
ソフトウェア	1,852	692
その他	787	787
無形固定資産合計	2,640	1,479
投資その他の資産		
投資有価証券	3,320	3,357
関係会社株式	10,956	10,956
繰延税金資産	123,581	123,625
差入保証金	86,681	85,831
その他	23,164	23,146
投資その他の資産合計	247,704	246,916
固定資産合計	310,446	306,489
資産合計	2,276,446	2,072,667
負債の部		
流動負債		
買掛金	123,007	59,673
未払金	94,888	100,657
未払費用	2,835	1,656
未払法人税等	80,797	46,320
未払消費税等	35,390	24,801
前受金	209,217	140,363
賞与引当金	17,220	11,716
製品保証引当金	32,000	—
株主優待引当金	9,915	—
その他	22,198	13,645
流動負債合計	627,471	398,835
固定負債		
退職給付に係る負債	317,631	335,400
長期末払金	5,972	—
固定負債合計	323,604	335,400
負債合計	951,076	734,235

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	255,250	255,250
資本剰余金	113,145	113,145
利益剰余金	1,057,417	1,070,579
自己株式	△132,137	△132,137
株主資本合計	1,293,676	1,306,837
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	332	232
その他の包括利益累計額合計	332	232
新株予約権	31,361	31,361
純資産合計	1,325,369	1,338,431
負債純資産合計	2,276,446	2,072,667

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年7月1日 至 2022年12月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年7月1日 至 2023年12月31日）
売上高	1,083,264	1,404,791
売上原価	776,252	1,013,614
売上総利益	307,012	391,176
販売費及び一般管理費	277,658	271,093
営業利益	29,353	120,083
営業外収益		
受取利息	4	0
未払配当金除斥益	228	—
その他	57	84
営業外収益合計	289	85
営業外費用		
支払利息	115	82
コミットメントフィー	900	900
支払手数料	28	—
為替差損	107	4
雑損失	145	—
営業外費用合計	1,296	987
経常利益	28,346	119,180
税金等調整前四半期純利益	28,346	119,180
法人税等	9,615	37,678
四半期純利益	18,730	81,501
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,730	81,501

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年7月1日 至 2022年12月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年7月1日 至 2023年12月31日）
四半期純利益	18,730	81,501
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△127	△99
その他の包括利益合計	△127	△99
四半期包括利益	18,602	81,401
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,602	81,401
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	28,346	119,180
減価償却費	5,876	5,437
前払費用の増減額(△は増加)	62,700	42,704
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	14,947	17,768
株主優待引当金の増減額(△は減少)	—	△9,915
製品保証引当金の増減額(△は減少)	—	△32,000
受取利息	△4	△0
支払利息	115	82
売上債権の増減額(△は増加)	125,415	158,343
棚卸資産の増減額(△は増加)	△160,654	5,259
仕入債務の増減額(△は減少)	19,021	△63,333
前受金の増減額(△は減少)	△80,312	△68,854
未払消費税等の増減額(△は減少)	△34,828	△10,589
株式報酬費用	7,351	—
未払金の増減額(△は減少)	22,630	6,691
預り金の増減額(△は減少)	44,580	△8,540
その他の資産の増減額(△は増加)	△3,063	988
その他の負債の増減額(△は減少)	△3,085	△12,666
その他	1,824	1,749
小計	50,861	152,304
利息の受取額	4	0
利息の支払額	△82	△18
法人税等の支払額	△36,051	△72,065
法人税等の還付額	—	547
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,730	80,769
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△203	△2,268
その他	△180	△180
投資活動によるキャッシュ・フロー	△384	△2,448
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100,000	—
配当金の支払額	△46,453	△68,205
割賦債務の返済による支出	△1,663	△1,695
自己株式の取得による支出	△3,179	—
その他	△900	△900
財務活動によるキャッシュ・フロー	47,803	△70,801
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	62,150	7,519
現金及び現金同等物の期首残高	795,398	1,189,695
現金及び現金同等物の四半期末残高	857,549	1,197,214

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年7月1日 至 2022年12月31日）

当社グループは、ERP導入関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年7月1日 至 2023年12月31日）

当社グループは、ERP導入関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。